



TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association

やあ!

1995
MAY 5
No.37

市町村文化財紹介 宇都宮市

うつのみや遺跡の広場(根古谷台遺跡)

宇都宮市聖山公園の墓園造成にあたって発掘調査(昭和57年～62年)を実施したところ、昭和61年に予想もしなかった縄文前期の大集落跡を検出したので、当初の墓園造成計画の一部を変更して、同地を「根古谷台遺跡」と称し現状保存することとなった。そして隣接地を含め史跡公園「うつのみや遺跡の広場」として整備し、平成3年に開園された。

内容は、日本一の規模を誇る復元建物と埋葬の諸形態などを展示した資料館である。この遺跡は、国の重要文化財にも指定された。

▷休園日=毎週月曜日(月曜日が休日の場合を除く) ▷開園時間=午前9時から午後4時30分まで ▷場所=宇都宮市上欠町151 ▷管理事務所=☎0286-59-0193



The Utsunomiya Historical Remains Preserve (The Nekoyadai Historical Remains)

During the archeological excavation of burial grounds in Utsunomiya's Hijiriyama Park (1982-87), extensive remnants of early Jomon culture were unexpectedly found in 1986. The original plans to excavate the burial grounds were altered to preserve the thus named Nekoyadai Historical Remains. The adjacent lands were subsequently reclaimed as historical parkland and opened in 1991 as the Utsunomiya Historical Remains Preserve.

The archeological museum exhibits several burial mounds and boasts a collection of restored buildings unrivalled in all of Japan. These historical remains have also been designated as national culture monuments.

Holidays are every Monday; hours are 9:00 to 4:30; the address is 151 Kamikake Utsunomiya City; the management office may be reached at 0286-59-0193

特集

JETプログラム

- ようこそとちぎへ 県費留学生・栃木県国際交流員
- TOPICS 浙江省友好交流員が帰国

新シリーズ

- 外国料理&食料品～あんな店こんな店 インド料理シャングリラ・モティ
- 国際交流学校訪問 宇都宮市立横川東小学校

TOPICS

浙江省友好交流員が帰国

大西由祈子さん（河内町在住・写真左）
横倉 弘子さん（真岡市在住・写真右）



中国・浙江省との友好交流事業の一環として、平成6年9月から平成7年の1月までの5か月間、大西由祈さんと横倉弘子さんの2名が「浙江省友好交流員」として、中国語の研修のため同省杭州市の杭州大学に派遣された。友好交流員第1号として浙江省での生活を体験したふたりにインタビューした。

——この「浙江省友好交流員」は栃木県が平成6年度から始めた事業ですが、参加を希望した動機は何でしょうか。

大 西：1年間ほど中国語を勉強していて、いつか中国に行ってみたいと思っていました。新聞の県広報欄の募集を見てすぐ応募しました。

横 倉：私は3年前に、半年間ほど福建省師範大学に留学していました。帰国してからも、真岡市にいる中国からの企業研修生と交流していて、また、中国に行つて勉強したいと思っていました。

——選考試験は何人受けましたか。

大 西：10人です。決定してから、派遣まで2、3回、栃木県のオリエンテーションがありました。

——杭州大学での勉強や、日常生活はいかがでしたか。



▲杭州大学正門前の大西さん

横 倉：授業は月～金曜の8時～11時です。午後は基本的に自由です。班（クラス）は7つあり、能力別になっています。内容は読解、会話、ヒアリングです。

大 西：外国人留学生のための語学コースなので、韓国人、ドイツ人、オランダ人、スウェーデン人などたくさんいました。でも一番多かったのは日本人で、全体の3分の1くらいいました。午後の自由時間に、希望者は書道や太極拳の授業がとれます。

横 倉：住居は大学の外国人寮です。一人一室ですがシャワーやトイレは共同です。ときどきお湯が出ないこともありましたね。

大 西：毎月の生活費として500円（約5,500円）をいただきました。食費だけしかからないので、なんとかなります。校内に、留学生レストランと普通の学生レストランがあります。前者が一食10円で、後者が3元でした。ときどき虫が入ったり、ご飯に石が入ったりしましたよ（笑）。

——週末は、どこかへ行ったりしましたか。

大 西：普通は杭州市内で過ごしますが、

北京や上海、また、近郊の紹興市へ行きました。

横 倉：私は中国人の友人の家を何度か訪問しました。それと、市内の西湖にはよく行きました。

——それでは最後に、この研修の成果をお聞かせください。

大 西：日本で勉強するよりも、ずっと勉強になりました。

横 倉：前に留学したときは、あまりやる気がなかったのですが、今回は非常にいい勉強になり、中国語への反応が良くなりました。やはり中国人と一緒にいると上達しますね。



▲寮の友人たちと記念撮影
（中央が横倉さん）

フランス・ヴォークリューズ県で栃木県の高校生がホームステイ

前号で紹介した、栃木県日仏青少年短期研修事業のフランス派遣高校生5名が、平成7年3月17日～30日の14日間、フランス・ヴォークリューズ県を訪れた。

受入れは同県カルパントラ市のヴィクトル・ユーゴー高校。同市からは昨年10月に、やはり5名の高校生が栃木県を訪れている。栃木県の高校生たちは、そのフランス高校生宅にホームステイしながら、体験通学を行った。

午前中はフランス人高校生と一緒に、英語、生物、数学、地理等の授業に出席した。日本人が珍しいせいか、みんなに注目されたそう。最初は緊張していたが、学校に慣れてくると積極的に話すようになった。午後は研修旅行で、教会や古い村、またローマ時代の水道橋や競技場を訪れたり、サ



▲カルパントラ市長主催のさよならパーティーでホストファミリーと

ントン人形（プロヴァンスの有名な人形）、ガラス細工工場、ワイン工場等を見学した。週末はホストファミリーと楽しいひとときを過ごした。

初めてのホームステイに全員が感動。「将来、もう一度ヴォークリューズ県に行つて、ホストファミリーと会いたい」と話す5名は、行く前よりひと回り大きくなっていた。



▲生物の授業に出席する高校生



▲ワイン工場地元のワインを試飲

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

平成7年度県費留学生

今年度の県費留学生は、新規2名、継続3名の計5名で全員女性。新規2名は4月5日成田空港に到着した。長旅の疲れもなんのその、さっそく勉強開始。1年間、みんな頑張って！（敬称略）

- ①年齢 ②国籍 ③研修科目
④留学先 ⑤メッセージ

〔新規留学生〕

▷西山ソニア ①29 ②ブラジル ③歯学科 ④自治医科大学口腔外科 ⑤私はサンパウロ州立大学で歯科学を学びましたが、それ以上に深く研究したいと思い留学を希望しました。日本へ来て美しい桜を見ることができました。日本とブラジルは習慣が違いますが、早く日本の生活に慣れたいと思います。お世話してくださる皆様に感謝いたします。

▷池田緑ルシア ①25 ②ペルー ③経理部門管理科・経理科 ④白鷗大学経営学部 ⑤桜の花は日本の優しいほほえみです。今年日本へ初めて来て、そのほほえみを見ました。私はペルー人です。日本はおじいちゃんとおばあちゃんの故郷なので、よその国ではありません。これから白鷗大学でマ



◀今年度の県費留学生。前列左からソニア、ルシア、後列左からエリーザ、リナ、イザベル

ーケティングと日本の文化を一生懸命勉強するつもりです。

〔継続留学生〕

▷西山エリーザ恵子 ①22 ②ブラジル ③情報工学 ④宇都宮大学工学研究科 ⑤この1年間、日本の進んでいる学術・文化をはじめ、美しい風景や多くのことを見たり、聞いたり、経験したりすることができました。心から感謝いたします。これからは最新のマルチメディアシステムをより深く学ぶためにがんばりたいと思います。

▷大高淳子リナ ①22 ②ブラジル ③情報工学 ④宇都宮大学工学研究科 ⑤あっという間に1年過ぎてしまいました。この1年間は宇都宮大学での勉強とともにいろいろな行事に参加できて、多くのことを吸

収できました。これからも積極的に様々なことを体験し、私のルーツである日本を理解していきたいと考えています。また、研究の面でも努力したいと思います。

▷室井三枝子イザベル ①28 ②ブラジル ③心エコー検査 ④獨協医科大学第一内科 ⑤約1年が経過して、生活には少しずつ慣れてきましたが、まだまだ医学についての勉強、日本の文化など学びたいことがあります。これからも一つひとつのことをゆっくり味わいながら過ごしたいと思っています。両親から教えられていた日本人の生活習慣・文化・気質等が、日本で生活してみてわかったような気がします。ブラジルに帰国してからは、こちらで学んだことを生かして活躍したいと思っています。そして、この留学を決して忘れません。

栃木県国際交流課国際交流員

王 敏さん（中国・浙江省出身）



平成7年4月から1年間、栃木県国際交流課の国際交流員(CIR)として中国・浙江省

から来県した王さん(34歳)。栃木県が同省から国際交流員を迎えるのは2年目で、前任の莫さんが3月で帰国し、王さんが着任することとなった。

「浙江省では、地方の外務省にあたる外事弁公室の人民対外友好協会に勤めています。仕事内容は栃木県、福井県、静岡県との国際交流事務です。日本にはこれまで3、4回来ました。栃木県は初めてです。だか

ら新鮮感があります。以前渡辺知事さんの書いた“地酒で乾杯〜とちぎに生きる”を読んで、栃木県を少し研究しましたが、栃木県が思ったより大きく、いろいろな面で発展しているので驚きました」と栃木県の第一印象を語る。

王さんが日本に興味を持ったのは中国が門戸開放を進めるようになった1982年頃。日本語ブームが起り、経済大国日本を勉強したいと思った。上海外国語大学日本語学部に入學してから、日本語を専門的に勉強し、卒業後、安徽大学（華中地区）で講師として日本文化、歴史、風俗習慣を教えた。また、地方劇“天仙配（京劇のようなもので古い恋物語）”を初めて日本語に訳したという。その後上海外国語大学の修士課程に進み、更に日本語を勉強して、外事弁

公室に入った。

国際交流員としての王さんの仕事は、浙江省との連絡調整、翻訳、通訳、そして海外知識普及講演会で中国について講演することなどである。

「文化や経済などいろいろな面について浙江省の実情を話したいです。中国では今、経済改革がものすごい勢いで行われています。上海では13分に1つ合併会社が誕生しています。すごい投資ブームです。杭州市（浙江省の省都）でも、今までは華僑の投資家が多かったのですが、日本やアメリカ等の投資家が増えてきています。栃木県の経済界の人々にこうした状況を紹介したいと思っています」と交流業務に意欲を見せる王さん。

「これからも栃木県内を見て回ったり、たくさんの友達も作りたいですね。そして、栃木県のことをいろいろ学んで、浙江省に持ちかえりたいと思っています」。

特集

JETプログラム

Japan

exchange

&

teaching

JETプログラムは「語学指導等を行う外国青年招致事業」(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略称で、地方公共団体が自治省、文部省、外務省及び財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下に実施している。

外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図ることを目的とし、国内はもとより世界各国からも高く評価されているこのプログラムについて特集する。

新しい外国青年へのオリエンテーション
(栃木県JET)



2万人以上の外国青年が来日

JETプログラムの外国青年の職種は、地域において交流事業に従事する国際交流員(CIR:Coordinator for International Relations)、中学校や高等学校で語学指導に従事する外国語指導助手(ALT:Assistant Language Teacher)、及び平成6年度から招致し始めたスポーツを通じた国際交流を行うスポーツ国際交流員(SEA:Sports Exchange Advisor)の3種類である。いずれも各地の地方公共団体(都道府県、政令指定都市、市町村)等に配置される。

昭和62年に開始され、平成6年度までの8年間に、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アイルランド、フランス、ドイツ、中国、韓国、ロシアの11カ国から2万人を超える外国青年が来日した(平成6年度は4,185人)。



▲「とちぎ国際・フェスティバル'94」に参加するJETプログラムの外国青年

JETの仕事内容

国際交流員は、地方公共団体の国際交流担当部局等で、①外国語刊行物等の翻訳、②国際交流事業の企画・立案及び実施にあたっての協力・助言 ③外国からの訪問客の接遇 ④イベント等の際の通訳 ⑤地方公共団体の職員、地域住民に対する語学指導への協力、などを行う。

外国語指導助手は、英語、フランス語、ドイツ語の3言語に分かれる。配属先は中学校、高校及び教育委員会などで、①日本人教師の外国語授業の補助 ②外国語補助教材作成の補助、③外国語教師に対する現職研修の補助、④外国語クラブ等課外活動への協力、⑤外国語指導主事及び外国語教師に対する語学に関する情報の提供(言葉の使い方、発音の仕方等)などを行う。

スポーツ国際交流員は、①地方公共団体のスポーツ指導事務の補助、②地域における優秀な選手等に対するスポーツ指導への協力、③地域の民間国際交流団体のスポーツ活動に対する助言などが主な仕事で、平成6年度は、サッカー、水泳、バスケットボール、アイスホッケーの指導者が招致された。

なお、外国青年の契約期間は1年間で、3年目まで契約更新が可能である。

外国青年の選考

JETプログラムへの参加希望者は、募集対象国の日本大使館に書類を提出し、書類選考後、面接試験を受ける。資格要件として、健康で外国での生活適応能力があり、原則として35歳未満、大学の学士号取得者(または取得見込者)で、外国語の発音、リズム、イントネーション、発声、語学力、



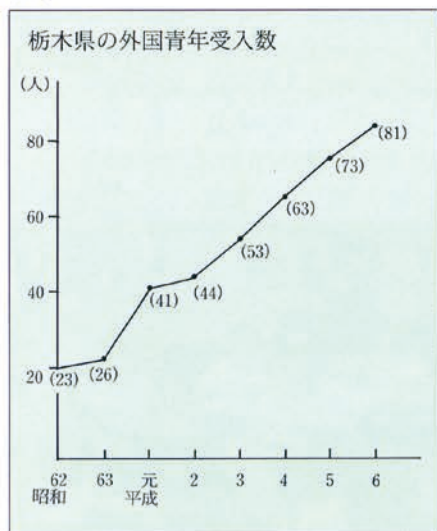
文章力に優れていること、そして、日本について関心があり、来日後も進んで日本に対する理解を深めようとする意欲があることなどがあげられる。

国際交流員には、特に、日本語の実用的な能力が求められている。

栃木県のJET事情

栃木県が今まで受け入れた外国青年の数は国際交流員29人、外国語指導助手375人の計404人である。昭和62年度の23人から毎年増えつづけ、平成6年度は81人になった(グラフ参照)。スポーツ国際交流員及びフランス語、ドイツ語の外国語指導助手はまだ来っていない。なお、平成7年度の外国青年は、7月に新旧交代が行われ、86人になる予定。

外国語指導助手については県内の教育事務所、県立高校に配置され、公立中学校・高校を巡回指導している。一方、国際交流員は、栃木県(英語・フランス語・中国語)、日光市、馬頭町、小川町、南那須町(いずれも英語)だけである(平成7年5月現在)。



CIRにインタビュー コリーン・マクグレイスさん (24歳・アメリカ出身)



私はアメリカ・ニューヨーク州のバッファロー市出身です。馬頭町と友好交流をしているホースヘッズ村から車で3時間くらいのところです。

昨年7月から国際交流員(CIR)として馬頭町で働いています。日本に来るのは3度目です。最初が、高校生のとき金沢市で1か月ホームステイ、次は、バッファロー大学の学生とき国際基督教大学に1年間留学し、東京で生活しました。そのため初めて馬頭町に来たときは田舎だなと思いました。でも、日常生活は田舎のほうがいいですね。住みやすいし、みなさんやさしいです。

これまで私が行った仕事は、“キャンプin ばとう”などのイベントでの通訳、馬頭町紹介パンフレットの翻訳、中学生のホース

ヘッズ村研修団のプログラムづくりと引率、また、ホースヘッズ村からの研修団受入れ、小中学校訪問や料理教室などです。学校訪問は、町内の12校全部2回ずつ計24回行い、子供たちと触れ合いました。その他、今年の1月から町内のケーブルテレビを使って、“コリーンのワンポイント英会話”という番組に出演しています。5分間の短い番組ですが、1日8回も放送されるんですよ(笑)。私自身とても楽しみながらやっています。

このCIRの仕事はとても気に入っています。約1年仕事をして、いろいろアイデアも出てきました。今年度はぜひそのアイデアを生かしてみたいです。



▲馬頭東中学校で行った料理教室

ALTにインタビュー ショーン・ドノバンさん (25歳・カナダ出身)



JETプログラムを知ったのは、故郷のモントリオール大学のときです。教えること、新しい言葉や文

化を知ること、そして旅行が好きなのでぜひ参加したいと思いました。それまで日本のことは全然知らなく、もちろん来たこともありませんでした。

今、鹿沼高校の外国人指導助手(ALT)として、週に16時間、英語を教えています。また、月に2回は、鹿沼東高校と栗野高校にも行っています。ALTになってもうすぐ2年になります。

授業は、日本人英語教師とチームを組んで行います。最初は、英語と日本語を混ぜながら授業を進めますが、だんだん英語の割合を増やし、年度終了のころはほとんど英語だけで行います。

生徒たちは最初シャイで、なかなか話そうとしません。日本の英語教育がインフォ

メーションが主で、コミュニケーションが少ないからだと思います。発音を気にしたり、ミスティクを恐れて話さない。単語を使って例文を作らせたりしますが、間違ったら訂正します。怒ることはありません。間違えば、他の生徒達もそのミスティクに気がつき、勉強になるんです。ミスティクは大切なのです。

私は、最初は厳しく教えます。生徒が自分から手を挙げるまで待つこともあります。そして、次第にリラックスな授業にしていきます。時にはゲームやギターを使って授業を行います。

金曜のお昼は、10名ぐらいの生徒と一緒に食べます。会話は英語だけ。とにかく生徒に話すチャンスを与えたいんです。私自身、たくさんの日本人の友達との会話から日本語を学んでいるんです。



▲鹿沼高校で英語を教えるショーンさん

国際交流団体紹介

フォスター・プラン 宇都宮周辺の会

フォスター・プランは特定の宗教、政治に関係のない民間で非営利の国際援助機関です。日本では1984年に活動が開始され、日本の会員は現在56,000人を超えています。

フォスター・プラン宇都宮周辺の会は1993年9月に設立、会員数は42名です。「会員相互の親睦」「援助国の実情把握」「プラン活動のPR」「国際交流活動への参加」などを目的とし、気楽に楽しく活動しています。会員の中には毎年のように「チャイル

ド」の国を訪問して交流をより深めている人達もいます。

会の活動は、講師を招いての講演会、会員のチャイルド訪問報告会などを開催しています。タイ出身の泉田スジダさんによる講演「東南アジアと日本」(仮題)は圧巻でした。

特に女性問題についてのお話は、会員一同息を飲む思いで聞き入りました。

また、昨年10月「フォスター・プランを知ってますか?」をテーマとして参加した「とちぎインターナショナル・フェスティバル」はとても有意義でした。

今年の主な行事は、①留学生などによる



▲とちぎインターナショナルフェスティバルに参加

講演会、②アジア学院訪問、③フェスティバル参加、④忘年会の開催等を計画しています。

今後は他の団体の行事にも積極的に参加し、国際交流の環を少しでも広げたいと考えています。

(文:会長 中田芳雄)

外国料理 & 食料品 あんな店こんな店

インド料理専門店 シャングリラ・モティ

昨年の4月にオープンした「シャングリラ・モティ」は、北インド地方の家庭料理を主体とした本格的なインド料理店。

自慢のカレーは、多種のスパイスが微妙にブレンドされていて、従来の辛さだけを強調したカレーとは違った味つけがなされている。また、パンを焼いたり、羊肉のローストやチキン、魚等の調理には、タンドール(インドの粘土で作られたオーブン)が使われている。

シェフのガンガ・シーンさん(42歳)は、インドのボンベイ出身でコック歴26年のベテラン。インド料理全般に通じている。毎朝7時半から夜遅くまで仕事をするという根っからの料理人だ。

おすすめ料理はカシミール(辛口チキンカレー)、ビーフコルマ(オニオン、ヨーグルトとナッツで煮込んだビーフカレー)、ティーンマハラニ(3種類のカレーとパン)などだそうです。

▶インド人シェフ、ガンガさん(タンドールの前)



◀インド民芸品で飾られた店内

店内にはインドの民芸品が展示され、魅惑的なインド音楽が流れている。また、インド製品(アクセサリ、衣類、バッグ等)も少し販売している。

なお、料理や店に対する提言等を随時受け付けているので、アンケート用紙に記入して下さいとのこと。

▷営業時間=11:00~22:00(月~金の15:00~17:00)は休憩 ▷年中無休 ▷住所=宇都宮市宝木町1-22-66安納マンション1階(コンセーレ・旧青年会館前) ▷電話=0286-43-7283



宇都宮市立横川東小学校

宇都宮市立横川東小学校(長村功之校長)は、7年前から、帰国子女や外国人子女を受入れている。平成7年度は、マレーシアからの帰国子女2名と、台湾、中国、アメリカから計5名の外国人子女が元気に勉強している。また、児童への国際理解教育にも熱心で、様々なプログラムを設けている。平成4~5年には、文部省から帰国子女等

教育研究協力校に指定された。

同校では、帰国子女、外国人子女が転入してくると、まず父兄を含め面談し、日本語の理解度を知り、適応指導を行う。そして、オリエンテーションには、外国語の説明が入った校内案内の写真等を用いてわかりやすく説明する。

転入と同時にクラスに配置されるが、特に外国人子女は、最初は日本語がわからずストレスがたまり日本語に拒否反応を示すため、1日に1時間ほど折り紙等をやらせたりして、リラックスできるように配慮している。また、中国人の日本語講師を招き、日本語の授業を行うこともある。その他、日本人教師による日本語指導もあり、次第に学校生活にも慣れ、約半年たつと、日本語が話せるようになるという。

全校児童を対象とした国際理解のプログラムは、宇都宮大学の留学生やALTを招いての「お国紹介」、帰国子女による外国生活体験の発表、外国人訪問客のホームステイ、また、自国の文化を再確認するため昔の遊びを学ぶ、など数々行われている。

このような学習環境に児童たちも慣れて、今では何の違和感もなく国際交流を行っているという。



◀中国から来た周怡さん(後ろから2番目)もクラスに受けこんでいる

情報発信 地域の国際交流案内

★青年海外協力隊春募集

開発途上国の人々に日本の技術を伝達する「青年海外協力隊」。春募集の内容は次のとおり。

▷応募資格＝20歳から39歳まで ▷応募方法＝所定の願書（T I Aで入手可能）を5月31日までに協力隊事務局へ提出

▷選考試験＝平成7年6月18日（日）

▷派遣期間＝2年間 ▷待遇等＝現地生活費が支給される。労災保険等の補償制度あり。無職で参加の場合、毎月定額が積み立てられ、帰国後に一括して支給される。現職参加の場合、休職等で所属先に身分を残したまま協力隊に参加できる場合もある。

▷募集規模＝約160職種、約1,000人を募集▷問い合わせ＝T I A協力隊係（☎0286-21-0777）

★栃木県青年の船参加者募集

「青年の船」は、中国の青年との交流や船内での活動を通して、地域や世代を超えた仲間に出会える。チャレンジ精神旺盛の皆さん、ぜひどうぞ！

▷行き先＝中国（杭州、蘇州、上海）及び沖縄県 ▷派遣期間＝平成7年11月16日（木）から11月26日（日）までの11日間▷費用＝128,000円（他に個人的経費10,000円が必要）▷募集人員＝280名▷応募資格＝①青年団員…県内に居住する18歳から29歳の男女（全日制高校生は対象外）②育成者団員…県内に居住する30歳～64歳の男

女（年齢は平成7年4月1日現在）▷応募方法＝所定の申込書を居住する市町村青少年行政主管課に提出▷募集期間＝平成7年6月5日まで▷使用船舶＝にっぽん丸（車椅子用の客室もあります）▷問い合わせ＝栃木県婦人青少年課（☎0286-23-3075）

★書き損じ葉書で国際協力を

農業指導者専門学校のアジア学院（西那須野町）は、アジア・アフリカから農業研修生を受け入れ、食糧生産の基本、農村生活の改善、コミュニティづくり等を教えている。

これらの研修生の奨学金のために、同学院後援会（A R I S A＝アリサ）では、書き損じ葉書をはじめ、切手、収入印紙、各種商品券、図書券、未換金宝くじ券、テレホンカードなども併せて集めている。

▷問い合わせ＝アジア学院後援会（329-27 栃木県那須郡西那須野町槻沢442-1☎0287-36-0936）

★外国人のための文化講座

国際交流民間ボランティア「グローバルグループ」では、鹿沼市及び近隣に在住の外国人を対象に、日本の伝統行事や施設の案内等を通して異文化交流を図るために、「外国人のための文化講座」を次のとおり開催する。●5月27日（土）＝川上澄生美術館、屋台会館、さつき祭り ●6月11日（日）＝いちご狩り ●7月23日（日）＝鳥山方面 ●9月24日（日）＝泣き相撲、ナシ狩り ●10月10日（火）＝秋祭り ●11月（日にちは未定）＝シンポジウム ※開催日が変更する場合もあるので確認要。

▷問い合わせ＝グローバルグループ・山本（☎0289-76-3393）

TIA日誌

1995年4月1日～1995年5月31日

- 4/4 栃木県日仏青少年短期研修事業高校生フランス派遣解団式及び報告会（自治会館）
- 4/5 平成7年度新規県費留学生入国第1期日本語講座開講（～7/26迄）
- 4/6 県費留学生オリエンテーション
- 4/7 県費留学生T I A表敬訪問
- 4/17 青年海外協力隊春募集説明会（真岡市真岡公民館）
- 4/18 県費留学生県民生活部長・知事表敬訪問
- 4/24 青年海外協力隊春募集説明会（足利市民プラザ）
- 4/27 青年海外協力隊春募集説明会（小山市中央公民館）
- 5/16 T I A監査
- 5/19 青年海外協力隊春募集説明会（大田原市総合文化会館）
- 栃木県海外移住家族会第1回役員会（協会研修室）
- 5/24 T I A第14回評議員会
- 5/25 T I A第16回理事会
- 青年海外協力隊春募集説明会（宇都宮市コンセーレ）
- 5/27 栃木県青年海外協力隊O B会総会（宇都宮市コンセーレ）
- 5/30 栃木県海外移住家族会総会（自治会館）

宇都宮 ↔ 成田空港
（直通高速バス マロニエ号）

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分！

	成田空港ゆき		宇都宮ゆき	
	宇都宮発	成田空港着	成田空港発	宇都宮着
●運賃・片道 大人 4,000円 小人2,000円 ●15名様以上団体割引	5:10	8:00	8:30	11:20
	6:10	9:00	14:40	17:30
	8:30	11:20	15:40	18:30
	10:10	13:00	17:00	19:50
	12:00	14:50	18:10	21:00
●お問合せ・ご予約は	14:00	16:50	19:40	22:30

マロニエ予約センター
☎(0286)38-1730

または関東バス各営業所へ
関東バス

県民の日協賛

栃木県交響楽団

第59回定期演奏会

指揮：山下一史
ピアノ：清水和音

曲 目

ウェーバー オペロン序曲
ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番
ブラームス 交響曲第3番

6/11(日)PM2:00 ▶ 宇都宮市文化会館大ホール

全自由 一般¥1,000 小・中・高生¥600 宇都宮市内プレイガイドにて発売
お問い合わせ 栃響事務局0286-23-3422

★第Ⅰ期日本語講座開講中

▷対象=在県外国人 ▷期間=平成7年7月26日まで(毎週水曜日)午後6時~8時
▷場所=TIA3階研修室 ▷定員=20名
▷受講料=無料(ただしテキスト代は実費)
▷申込み=☎0286-21-0777 TIA日本語講座係へ

★国連英語検定試験

▷試験日=第1次試験…平成7年7月2日(日)、第2次試験…平成7年8月6日(日)(特A・A・B級のみ) ▷受験地=宇都宮大学峰キャンパス ▷検定料=特A級・6,900円、A級・4,700円、B級・3,600円、C級・2,500円、D級・1,400円、E級・1,200円(消費税込み) ▷申込み=申込用紙(郵便振替用紙)の申込欄の所定の事項を書き込み、郵便局で検定料を振り込む。用紙はTIAで配付。▷申込期限=平成7年5月30日(火)まで ▷試験方法=第1次試験・特A級・A級・B級は筆記試験のみ。試験時間は120分。第2次試験・外国人インタビューとフリートーキング。C・D・E級は筆記試験と一部テープ・テスト(ヒアリング)。C・D級は90分、E級は80分。

★「ホームステイの手引き」完成!

TIAでは、ホストファミリーとして外国人を受け入れる場合のマニュアル「ホームステイの手引き」を作成した。ゲストを迎えるための心構えやノウハウの他、栃木県のレジャー、祭り、伝統工芸品などの情報も盛り込まれている。

この「ホームステイの手引き」をご希望の方は、TIAまでご連絡を。

★First Semester Japanese Language Lectures Registration

Participants: Prefectural foreign residents

Term: Every Wednesday from 6:00 to 8:00 pm until July 26

Location: The third floor of the TIA
Maximum enrollment: 20 students

Fee: Tuition is free, but students must purchase the textbook.

Please call the TIA at 0286-21-0777 to enroll.

★The Official United Nations English Examination

Exam Dates: Part One-Sunday July 7; Part Two (for Special A, A, and B levels only)-Sunday August 6

Exam Location: Utsunomiya University, Mine Campus

Exam Fee: Special A level-6 900 yen; A level-4 700 yen; B level-3 600 yen; C level-2 500; D level-1 400; E level-1 200 (consumption tax included)

Application: Payment may be made via a postal transfer. Examination application forms may be had at the TIA.

Application Deadline: Thursday, May 30

Examination Format: Part One (Special A, A and B level only) consists of a written exam with a 120 minute time-limit; Part Two consists of an unstructured interview with a native English speaker. C, D, and E levels

will have both a written and an aural component. C and D levels will be allotted 90 minutes each, while the E level is 80 minutes.

★Homestay Manual

The TIA has written a homestay manual for families who wish to host foreign visitors. Besides know-how and advice on emotional preparation in welcoming a guest, prefectural recreation sites, festivals and craftworks information have been included.

Anyone who would like a copy is encouraged to contact the TIA.

●ボランティアバンクに登録しませんか

①インタープリター

外国からの来訪者の歓迎行事や県民との交流行事などでの通訳案内や外国文書の翻訳等。

②ホームステイ

外国人が一般家庭に宿泊または訪問するときの受け入れ家庭。

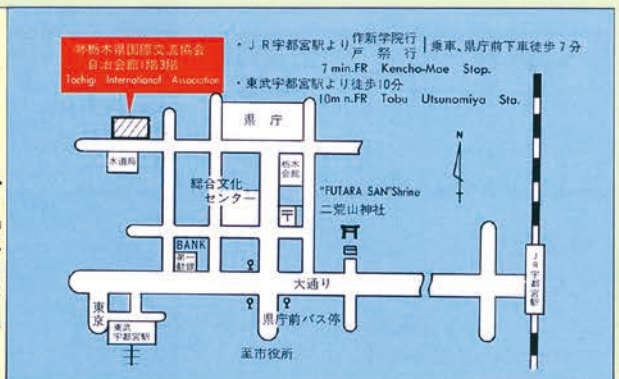
③文化交流サービス

TIAなどが実施する行事等において趣味や特技を活かしての国内外の文化の紹介。

●TIA賛助会員募集!

賛助会員は、年会費・個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。特典として指定店での割引等やTIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。

○今号から機関紙のタイトルが「TIAニュース・やあ!」に変わりました。国際交流のすべてはあいさつから。親しげに「やあ!」と声を掛けあって、みんな友達になりたいですね。サイズもA4版とちょっと大きめ。内容を更に充実し、読者の皆さんに様々な情報を提供していきたいと思ひます。○春は転出・転入の時期。TIAでも職員の交代がありました。事務局次長兼企画総務課長に、中年の渋さが売り物のS・M氏、業務課に、総体積TIANUMBER1に輝くT・F君(中国語担当)、総務課に、超若手やる気満々レディのR・T嬢(スペイン語担当)の3名が新たな戦力として登場しました。4月から数々の国際交流業務に頑張っています。どうぞヨロシク!



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会

住所 〒320 宇都宮市昭和1-2-16 栃木県自治会館1階

TEL 0286-21-0777 (代表) 0286-27-3399 (相談専用電話)

FAX 0286-21-0951

業務時間 8:30~17:15 土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特例措置)の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。